

住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち



総合計画とは

総合計画は今後のまちづくりの指針となるもので、将来のまちの姿やまちづくりの基本的な方向性を示し、それを実現するための施策を定めたものです。
住民のみなさんや事業者など本町に関わるあらゆる方々がそのビジョンをみんなで共有し、まちづくりを共に進めていきます。

基本構想

目指す10年後のまちの姿やその実現に向けたまちづくりの基本理念を定めています。
計画期間は令和3(2021)年度から令和12(2030)年度までの10年間です。

基本計画

基本構想を実現するため、重点的な施策展開や各分野の方向性を明らかにしていきます。
計画期間は令和3(2021)年度から令和7(2025)年度までの5年間です。

湯梨浜の今とこれから

	平成27年 (2015)	令和2年 (2020)推計	令和12年 (2030)推計	増減
総人口	16,550人	15,950人	15,031人	△919人
0~14歳	14.1%	14.1%	13.8%	△0.3%
15~64歳	56.0%	53.4%	51.5%	△1.9%
65歳~	30.0%	32.6%	34.7%	+2.1%

※年代の構成比は小数点以下を端数処理しているため、100%になりません。

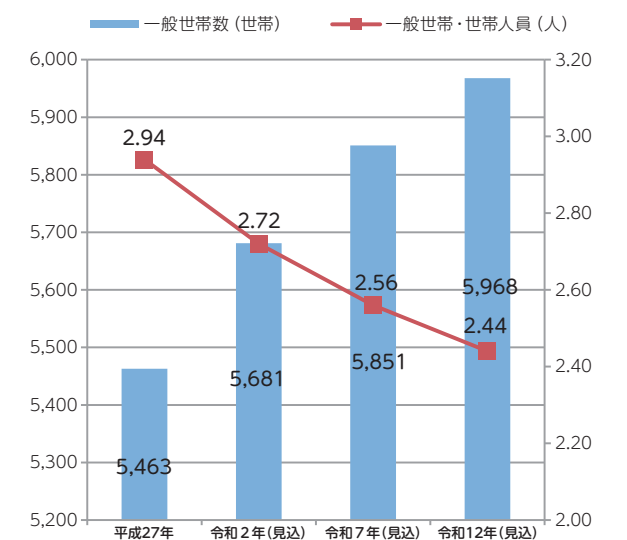
湯梨浜町の今後の人口

湯梨浜町の人口は令和12(2030)年度には現在と比較して、約1千人減少する見込です。少子高齢化がさらに進行し、人口の変化は地域経済や住民活動に大きな影響を与えることが予測されます。

(注)一般世帯：
① 国勢調査で用いられる世帯の定義で、次の世帯を指す
② ① 住居と生計を共にしている人々の集まり又は一戸を構えて住んでいる単身者
③ ①の世帯と住居を共にし、別に生計を維持している間借りる単身者又は下宿屋などに下宿している単身者
④ 会社・団体・商店官公庁などの寄宿舎、独身寮などに居住している単身者

世帯員の少人数化

一般世帯(注)にかかる一世帯当たりの平均人数は平成27(2015)年では2.94人でしたが、令和12(2030)年には2.44人になる見込です。一方、単身世帯や核家族世帯の数が増加し、世帯の小規模化が急速に進行しています。



基本計画

目指すまちの実現のために、取り組むこと

複数の分野にわたり、特に町が重点的に取り組む事業群を**横断型重点戦略**と位置づけ、「住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち」を実現していきます。

戦略 新たな日常を支える安心と活力あふれる先進的なまちづくり

働き方、暮らし方、産業構造など新しい生活様式に対応し、新しい価値観や多様性を受容できる豊かで持続可能なまちを実現します。

最新テクノロジーの活用

主な事業

- AI(注)・RPA(注)の導入推進と行政手続のデジタル化
- 小中学校ICT(注)環境整備事業
- 情報格差(デジタルデバイド)解消事業

(注)AI:人工知能

(注)RPA:主にパソコンなどを用いて人力で行っていた作業をコンピュータ・プログラムに組み込まれたロボットが代行し、自動化すること

(注)ICT:情報技術を活用して様々な人やモノ(物)をつなげていくこと

(注)ワーケーション:観光地やリゾート地等の好環境で休暇を取りながらテレワークを行う労働形態

(注)関係人口:移住した「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

新しい生活様式の実践と関係人口の創出

主な事業

- ワーケーション(注)推進事業
- 関係人口(注)創出事業
- 移住定住・仕事連携事業

戦略 人と自然が共生するユニバーサルデザイン(注)のまちづくり

スローライフを楽しめるまちを町民のみなさんと一緒に共創し、美しい自然や生物多様性を次世代に引き継ぎます。またすべての人が持っている能力を発揮できるよう、社会的・内面的な阻害要因を取り除き、誰もが暮らしやすいユニバーサルデザインのまちづくりを進めます。

地域資源を活かした協働によるまちづくり

主な事業

- 東郷湖・未来創造会議
- 天女のふる里づくり事業

男女が共に活躍できるまちづくり

主な事業

- 男女共同参画環境づくり奨励事業
- 「ゆりはま家族の日」
「ゆりはま家族の週間」普及啓発事業

自然環境の保全と美しい景観の維持形成

主な事業

- 環境教育、環境学習の推進
- 放置竹林対策事業
- 景観形成推進事業

(注)ユニバーサルデザイン:
どんな人でも無理なく、安全にわかりやすく使うことができる製品や環境、社会の仕組みなど



戦略 共につながり 生きていく「支縁社会」の形成

地域住民が支え合い、つながる共生社会の実現と年代、制度の枠にとらわれることなく、切れ目のない支援を行っていき、複雑多岐な福祉課題に対応します。
災害や疫病から町民の命と暮らしを守るため、「自助」「共助」「公助」と住民同士の絆を強化していき、誰一人取り残さないまちづくりを進めます。

世代や分野を超えた複合的課題への対応

主な事業

- 子どもの貧困対策とひとり親家庭の支援事業
- 地域共生包括的支援体制構築事業
- 消費者見守りネットワーク協議会設置事業

「福祉」「医療」「介護」「保健」の連携

主な事業

- SIB(注)を活用した飛び地型自治体連携事業
- 脱フレイル(注)大作戦

災害に強いまちづくりの推進

主な事業

- 自主防災組織強化事業
- 防災士養成事業
- 地域支え愛マップ推進事業
- 松崎地区内水対策事業

公共交通と共助交通の連携

主な事業

- 交通困難者対策事業
- 共助交通支援事業

(注)SIB:ソーシャル・インパクト・ボンド(Social Impact Bond)の頭文字。地方自治体などの行政機関が民間から調達された資金を使って、民間企業や法人に公的サービス事業を委託して、成果に応じて資金提供者に報酬を支払う仕組み
(注)フレイル:健康な状態から要介護の状態に移行する段階の身体的機能や認知的機能の低下がみられる状態のこと

分野別基本施策

分野別の主要施策

ここでは主な事業の一部を紹介します。

安全で住みやすいまちづくり

- 公営住宅整備事業
- 上水道供給強靱化事業
- 特定空家等除却支援事業
- 防災対策特別強化事業
- 若者夫婦子育て世代住宅支援事業

にぎわいと活力あるまちづくり

- 特産農産物生産振興事業
- 農業担い手育成対策事業
- 漁業振興対策事業
- 着地型、体験型観光商品企画運営事業
- スポーツを通じた国際交流推進事業

未来を創造する先駆的なまちづくり

- 中学校跡地利用推進事業
- 電子自治体の構築(再掲)
- 情報格差(デジタルデバイド)解消事業(再掲)
- 納税環境整備事業

共に支え合う 町民が主役のまちづくり

- 成年後見人制度利用促進事業
- 子育て世代包括支援センター運営事業
- 生活困窮者自立相談支援事業
- ゆりはまヘルシーくらぶ事業
- ボランティア団体活動助成事業
- 集落づくり総合交付金事業

志をもって 共に学び 明日を拓くひとづくり

- ICTを活用した教育の推進
- コミュニティ・スクール推進事業
- ふるさとキャリア教育推進事業
- 羽衣石城跡等国史跡指定推進事業
- 中央公民館泊分館整備事業

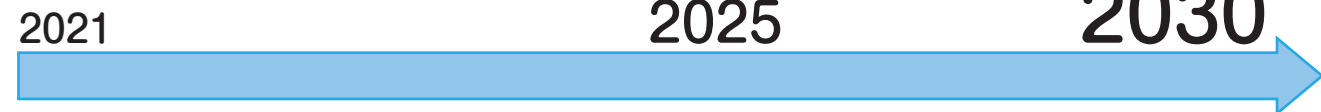
湯梨浜町企画課

発行：令和3年4月

〒682-0723 鳥取県東伯郡湯梨浜町大字久留19番地1
TEL 0858-35-5304 FAX 0858-35-3697
e-mail ykikaku@yurihama.jp

基本構想

湯梨浜町が進めるまちづくり



安全・便利・快適 魅力あふれるまちづくり

豊かな自然環境、生活環境等との調和の中で、町民の安全性、利便性、快適性がより確保され、持続可能で魅力あふれるまちづくりを進めます。

活気あふれるまちづくり

自然や歴史文化などの多彩な魅力をもったまちで暮らす多様な人々がその個性を生かし、高め合うことで、さらに新たなまちの彩りと輝きを創っていく、活気あふれるまちづくりを進めます。

温もりのあるまちづくり

すべての町民が共に「支え愛」、笑顔で生涯にわたり暮らすことができる、温もりのあるまちづくりを進めます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



湯梨浜町は町民、事業者のみなさんと一緒にこれからのまちづくりを進めていきます。

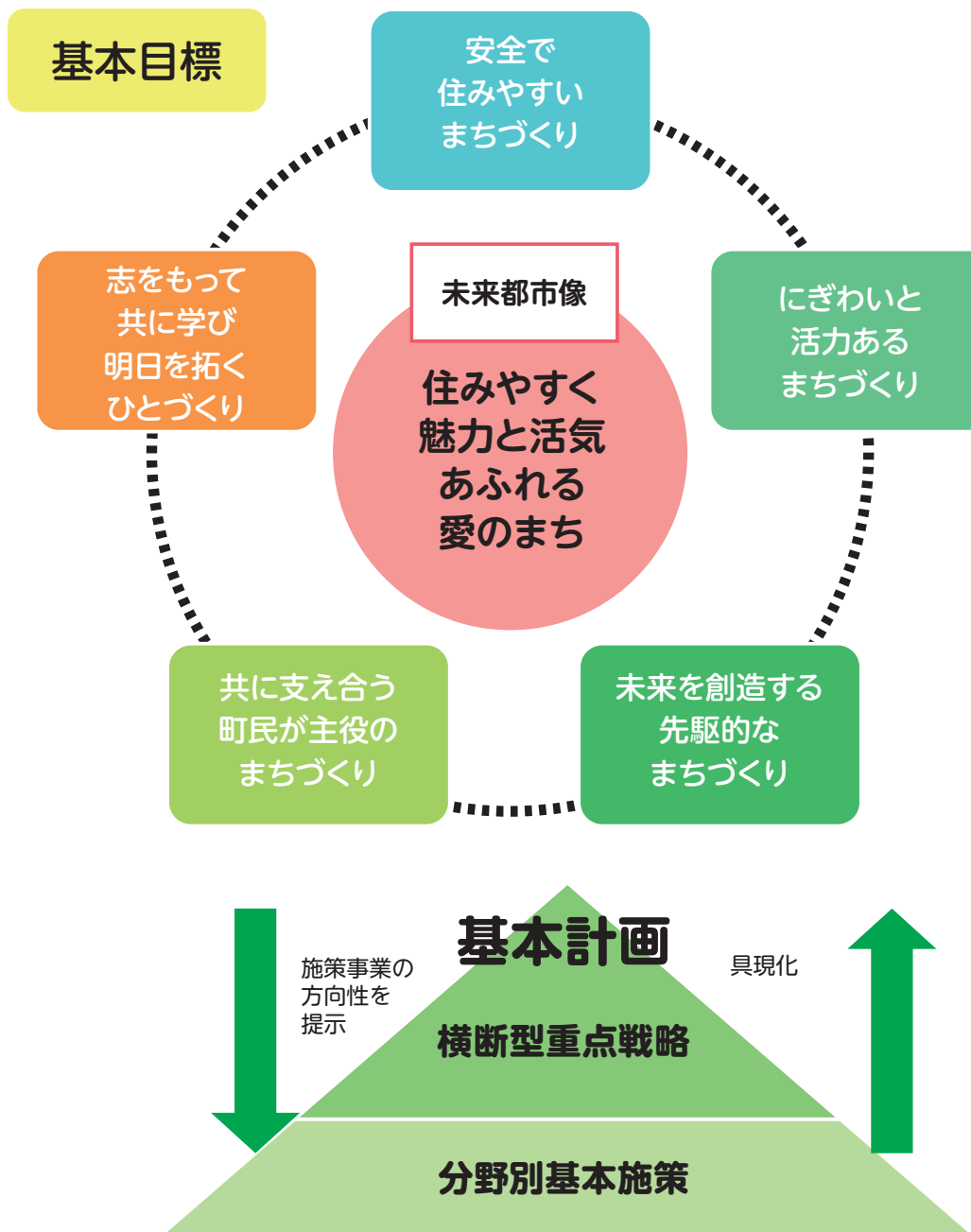
2030年、さらにその先に向けて、町がどんな未来を目指し、そのために何を大切に、どんなことに取り組んでいくのか、紹介します。

SDGsとは

2015年の国連サミットで採択された2030年を期限とする長期的な国際社会共通の目標です。持続可能な世界を実現するため、17の目標とそれを実現するための169のターゲットから構成されています。

未来を創るためのまちづくりの目標

湯梨浜町は町民のみなさんや地域、企業、団体など町に関わるすべての方々と一緒に、誰もが幸福に暮らせるまちを築き、次世代に引き継ぎます。



みんなで作るゆりはまの未来

1 安全で住みやすいまちづくり

豊かな自然環境と安全で良質な生活環境を確保するとともに、快適で安全・安心なまちづくりを推進します。

- ▶道路整備 ▶生活環境整備 ▶防災・安全
- ▶自然環境保全 ▶公共交通 ▶移住定住

2 にぎわいと活力あるまちづくり

地域資源を活かした個性豊かな産業の振興に努めながら、既存産業の充実はもとより、様々な産業の連携による新たな活力を創出します。

- ▶農林水産業 ▶商工業 ▶観光
- ▶雇用対策 ▶勤労者福祉

3 未来を創造する先駆的なまちづくり

先端技術の活用などを図りながら、コロナ禍後の社会経済情勢や価値観に対応した新しいまちづくりを進めるとともに、人口減少克服のため、持続可能で効果の高い行政運営の推進を図ります。

- ▶都市計画 ▶情報化推進
- ▶資源・エネルギー対策 ▶過疎対策推進
- ▶行政改革推進

4 共に支え合う町民が主役のまちづくり

子どもから高齢者、障がいのある人など、すべての人が健康で生きがいを持てるまちづくりを推進します。また町民相互のふれあいによる温かな地域社会を構築します。

- ▶福祉 ▶保健 ▶医療
- ▶健康づくり ▶住民参画推進 ▶地域づくり

5 志をもって共に学び明日を拓くひとづくり

湯梨浜町の伝統と文化を尊重し、湯梨浜町を愛し、自立して多様な人々と協働しながら社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の担い手となるひとづくりを図ります。

- ▶学校教育 ▶幼児教育 ▶生涯学習
- ▶スポーツ振興 ▶文化振興 ▶男女共同参画

2030年の湯梨浜町の目指す姿（未来都市像）

住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち



住みやすく 魅力と活気あふれる 愛のまち